

## 釧路川・新釧路川の洪水情報の緊急速報メール配信開始

### 防災ワンポイントコーナー

昨年8月の台風による洪水被害を踏まえ、釧路川・新釧路川で大規模な洪水が発生した場合には、浸水する危険性が高い地域の住民の方に対し、携帯電話やスマートフォンを通じて緊急速報メールが配信されることになりました。この緊急速報メールは、町が発信する避難指示などに関する「緊急速報メール」とは別に、緊急に対処を必要とする洪水情報を伝達するために、釧路開発建設部が独自に行うこととしたものです。

洪水情報とは、釧路開発建設部が、釧路川に氾濫危険情報(レベル4)および氾濫発生情報(レベル5)を発表した際に、流域住民の主体的な避難を促進するために配信するものです。町は地域住民に対し、この発表を参考にして、避難準備情報・高齢者等避難開始、避難勧告または避難指示(緊急)のいずれかを通知することとなります。状況によっては、この洪水情報が発表される前に、町が独自で避難準備・高齢者等避難開始等の避難に関する通知を行うこともあります。詳細については、広報てしかが6月号でお知らせします。

#### 【配信の内容】

■配信開始日: 5月1日以降

■配信エリア: 釧路川流域市町村(弟子屈町、標茶町、鶴居村、釧路町、釧路市)

## 災害に備えて防災備蓄品を整備

町では、災害に備えて防災機材や飲食料などの備蓄を進めています。そのような中、3月24日には、釧根地方石油業協同組合弟子屈支部(藤田文明支部長)から無煙突式ポータブル石油ストーブ2台の寄贈を受けました。

今回、寄贈を受けたストーブは、約48畳(木造の建物)または約66畳(コンクリートの建物)を暖めることができる高出力の無煙突式ポータブル石油ストーブで、冬場の避難場所などで非常に有効なものです。

昨年8月には、道内に4つの台風が襲来して各地で多くの避難者が発生しましたが、弟子屈でも初めての大雨による避難準備情報を発令し、10人の方が自主避難いたしました。この他に、例年暴風雪による大規模停電、国道・道道等の通行止めが発生するとともに、過去の屈斜路湖地震やペケレ地震のような大規模な直下型地震が発生する可能性があり、避難所開設時には、このような防災備蓄機材が大変有意義です。

同協同組合からは「災害時に役立つ機材を寄贈したい」との申し出により、この度の寄贈となりました。

贈呈式を受けて、徳永町長は「さまざまな災害に備えて、これらの機材を有意義に活用させていただきます」とあいさつしました。



寄贈されたポータブル石油ストーブ

問い合わせ先/役場総務課防災情報係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 2 (課直通)

## 弟子屈町林野火災予消防対策協議会からのお知らせ

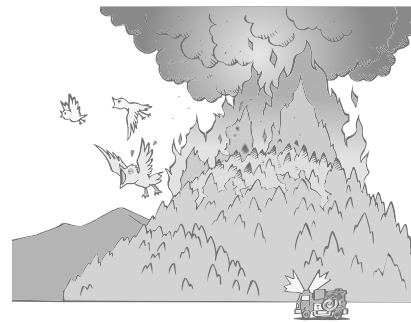
### ～木々たちの聞こえぬ声が燃えて散る～

林野火災が心配される季節になりました。

町民の皆さんや観光客の方が、余暇などを利用して山林に立ち入ることが多くなるシーズンです。山火事防止のため、次の点にご協力をお願いします。

- 山林内での喫煙や携帯ガスコンロなどの火気の取り扱いに、十分注意しましょう。
- チェーンソーなどの機械の使用には、十分注意しましょう。

▶林野火災予防強調期間/5月31日(木)まで



問い合わせ先/ 弟子屈町林野火災予消防対策協議会  
(事務局/役場農林課林務係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 6 (課直通))

## 武四郎講座第1回

# 「仮想登山みんなでカムイヌプリ(摩周岳)へ！」

159年前に、松浦武四郎がアイヌの人たちの案内で見た風景と一緒にたどってみませんか。実際に歩くのではなく、写真や文献を道しるべにして摩周エリアの魅力を紹介するものです。



松浦 武四郎

▶主催/チームくっしゃろ(屈斜路湖周辺の歴史・文化の収集・発信などを行う地域活動団体です)

▶後援/弟子屈町教育委員会、川湯エコミュージアムセンター、北海道新聞社弟子屈支局、釧路新聞社標茶支局(順不同)

▶日時/5月18日(木) 18:30~20:30

▶場所/弟子屈町公民館1階研修室

#### ▶内容

- スライドトーク 片瀬志誠さん(ネイチャーフォトグラファー)  
さまざまな自然状況の中で切り取られた摩周湖の写真を見ながら、撮影秘話を聞かせてもらいます。
  - 松浦武四郎文献解説 斎藤敬子(チームくっしゃろ)  
「戊午東西蝦夷山川地理取調日誌」や「久摺日誌」の記述を読みながら、摩周湖周辺を歩いたようすをお伝えします。
  - ガイドトーク 藤原仁さん(トレッキングガイド)  
アウトドアに適した服装や持っている便利な道具などを知ることも大切。安全&安心に楽しめる山歩きのコツを教えてください。
  - 国立公園名称変更について 阿寒国立公園管理事務所より
- ▶定員/30人(先着順) ※参加無料、事前予約不要。直接会場へ  
□申し込み・問い合わせ先/☎090-6876-5393(チームくっしゃろ・斎藤)

## アイヌの自然

### ミズバショウ(イソキナ)

雪解けの湿地帯に姿を現すミズバショウ。花が咲いた後、グングンと長さを伸ばす葉を、アイヌの人たちは物を包むのに使ったそうです。屈斜路アイヌの人たちは「イソキナ」と言いました。イソはクマ、キナは葉という意味です。冬ごもりから目覚めたヒグマは、ミズバショウの根を食べます。人間に対しては有毒成分が含まれているのですが、ヒグマにとっては体内にたまった老廃物を排出する下剤の役目を果たしていると見られています。



昔は物を包むに使っていた



上空からの川湯温泉

トでは、ロソエク園満喫プ国立公

の温泉ファンからも人気が高い温泉街です。しかしながら、川湯温泉に宿泊する観光客は年々減少し、旅行者の形態も団体から個人、国内旅行者から訪日外国人旅行者へと変化し続けています。阿寒国立公園内に位置する川湯温泉は、明治時代から湯治場として多くの人が利用され、地域住民はもちろんです。全国

## EMC通信

～川湯の森から～

### 川湯温泉らしいまちなみ景観へ

温泉街に宿泊する外国人利用者の増加や、心地よく滞在してもらうことを目的として、まちなみ景観の改善も重点事項として挙げられています。もちろん川湯温泉街も対象になっており、コンセプトを「森の中にある温泉街」とし、自然滞在型の温泉保養地として2020年までに再生を目指しています。

川湯温泉を取り囲む森は、酸性土壌によるアカエゾマツの純林、ミスナラやシラカンバなどの広葉樹林など、多くの樹種で構成されています。この地に住む私たちには見慣れた風景であっても、風土の違う訪日外国人旅行者にとっては全くの別世界。新鮮な目で「森」と「温泉街」を見つめ直してみることが、この地の特色を生かしたまちなみ景観へと近づく一歩ではないでしょうか。

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎ 4 8 3 - 4 1 0 0

URL <http://www.kawayu-eco-museum.com> 8:00~17:00開館(毎週水曜日休館・5月3日開館)